



第370回 12月定例会

一般質問

- | | |
|-------------------|--------------------|
| まつもとあきのり
・松本哲昇 | かわなよしぞう
・川名善三 |
| おかじままさあき
・岡嶋正昭 | ほりいかずみ
・掘井算満 |
| まつもとひであき
・松本英昭 | すすがきはじめ
・鈴木垣元 |
| ふじいたまお
・藤井玉夫 | ふじもとしゅうぞう
・藤本修造 |
| かしまじゅん
・加島淳 | |

議案質疑

- | | |
|-------------------|------------------|
| かわしまのぶゆき
・河島信行 | よしだしげひろ
・吉田成宏 |
|-------------------|------------------|

議会傍聴

12月定例会 46人

夢と希望が膨らむ新しい学び舎

小野中学校の新校舎

まもなく完成!!

体育館、プールも同時に完成します

12月定例会終わる

こんなことが決まりました…… 2～3

一般質問・質疑発言者	4
一般質問・質疑について	5～10
常任委員会審査報告	10
市議会10大ニュース(改革)	11
議会の動き	12



12月定例会

こんなことが決まりました。

12月定例会は、11月30日から12月22日まで23日間開催しました。一般会計補正予算をはじめ、条例の制定及び人事案件などを含む議案13件を原案のとおり可決・同意するとともに、請願2件を採択し、1件を継続審査としました。

新設された条例

小野市私債権の管理に関する条例の制定について

上水道料金、病院診察料など私法上の債権をより適正に管理するため、市長の責務、台帳の整備、放棄の要件(50万円以下で時効期間が満了したもの等)などを定める。

小野市嘱託職員の身分取扱い等に関する条例の制定について

小野市非常勤職員の身分取扱い等に関する条例の制定について
小野市臨時職員の身分取扱い等に関する条例の制定について

この3件の条例は、非正規職員の

給与等について、従来、その詳細は規則に定め運用していたが、本年9月の大阪府茨木市の行政訴訟の最高裁判決で「条例がない自治体は速やかに条例改正すべき」との補足意見が付されたことから、給与等の条例主義に則したものとするため、一般職の嘱託職員、非常勤職員及び臨時職員の任用及び賃金等を規定する。

一部改正された条例

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

平成22年8月の人事院勧告に鑑み、中高年齢層の給料を平均0.1%引き下

げ、さらに55歳を超える管理職の給料等を1.5%減額。

期末勤勉手当を年額415月から0.2月分引き下げ3.95月分へ等。

特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成22年8月の人事院勧告に鑑み、期末手当を年額415月分から0.2月分引き下げ3.95月分へ。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成22年8月の人事院勧告に鑑み、期末手当を年額415月分から0.2月分引き下げ3.95月分へ。

主な議案

土地の取得について

目的 新都市中央線道路改良事業用地

所在地 小野市市場町926番7
4他10筆

面 積 34,099.33㎡
 取得金額 98,740,317円
 相手方 兵庫県知事 井戸敏三
 外1名

訴えの提起について

趣 旨 市税徴収に係る過払金債権
 差押不履行に伴う取立金の
 支払いを求める訴え金
 4,270,539円及びこ
 れに対する年5分の割合に
 よる利息

相手方 プロミス(株)

代表取締役社長 久保 健

平成22年度小野市一般会計補正予算
 (第4号)

補正額 54,000千円 追加
 総 額 19,075,300千円

平成22年度小野市国民健康保険特別
 会計補正予算(第2号)

補正額 49,600千円 追加
 総 額 5,456,848千円

平成22年度小野市介護保険特別会計
 補正予算(第2号)

補正額 1,000千円 追加
 総 額 2,922,455千円

小野市固定資産評価審査委員会委員
 の選任について

藤原京子委員が平成23年1月18日
 で任期満了となるため、その後任と
 して同氏を再任したため。

請願関係

「取調べの可視化など刑事訴訟法の
 改正を求める意見書に関する請願書」

「環太平洋連携協定(TPP)参加
 に反対する請願書」

この2件の請願は、採決の結果採
 択されました。

「他学区との統合などにより北播磨
 の通学区をこれ以上広げないことを
 求める意見書の提出を求める請願」

この請願は、継続審査を要するも
 のと決定しました。

(HPに採択された請願の内容を掲載
 しています)

一般会計補正予算の主な内容

今回の補正予算は、予防接種関連として、これからの季節に流行が懸念
 されるインフルエンザのワクチン接種の負担軽減の対象拡大(65歳以上及び
 64歳未満の生活保護・市民税非課税世帯の自己負担額無料化)に伴う費用や
 日本脳炎の接種再開による接種者の増に対応する費用、また、子育て支援
 対策として、保育環境の向上のための保育所施設整備に対する補助や安心
 こども基金を活用した子育てメール配信システム関連経費の追加をしてい
 ます。

この他、生活保護者の入院増による扶助費の追加や第5期介護保険事業
 計画策定に向けた高齢者ニーズの調査を行うため介護保険特別会計への繰
 出金など、子育て、安全安心にかかる必要経費の追加補正を行います。

(単位:千円)

	内 容	補正額	補正後
追加	◆インフルエンザ予防接種経費 国の法律改正による対象者の増(64歳以下の生活保護・非課税世帯が追加) 【負担割合:国1/2 県1/4 市1/4】	6,387	34,452
追加	◆日本脳炎予防接種経費 平成17年6月以降積極的勧奨を差し控えていたが、平成22年8月より一部接種を再開、過去に接種を受けられなかった方(4歳~7歳半、9歳~13歳未満)への接種費用の追加	8,684	15,668
追加	◆保育所施設整備補助金 空調設備及び耐震補強箇所増などによる増(対象みやま、小野のみまわり、下東条西、下東条中央) 【負担割合:県1/2 市1/4 保育所1/4】	8,000	117,167
追加	◆児童入所施設等措置経費 母子生活支援施設への入所者増(当初1組→4組) 【負担割合:国1/2 県1/4 市1/4】	4,800	8,400
追加	◆地域子育て創生事業 チャイコムネット用パソコン、携帯ストラップ費用等の追加 【負担割合:県10/10】	300	14,450
追加	◆生活保護措置費 生活保護者の入院増による医療扶助の増 【負担割合:国3/4 市1/4】	20,854	300,285
追加	◆介護保険会計繰出金 第5期介護保険事業計画に向けた日常生活圏域高齢者ニーズ調査・介護保険市民意識調査	1,000	444,144
新規	◆緊急雇用創出事業 農道現況調査、小規模企業支援及び商店街活性化支援のための推進員配置 【負担割合:県10/10】	1,600	1,600



来住小学校区地域教育防災訓練

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

平成22年 12月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス：<http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/>

一般質問発言者

松本哲昇議員

- ・上下水道整備計画について
- ・市道整備について
- ・ごみの減量について
- ・学校空調設備導入による学習効率の検証について

川名善三議員

- ・「子ども・若者育成支援推進法」への対応について
- ・マルチメディア・デージー教科書の活用について

岡嶋正昭議員

- ・新学習指導要領について
- ・消防救急隊の活動状況について
- ・市街地道路側溝の整備について
- ・新型インフルエンザ対策について

掘井算満議員

- ・鴨池キャンプ場の整備について

- ・仮称「小野警察署」の設置について

松本英昭議員

- ・コミセン下東条周辺整備について
- ・公民館を拠点とした福祉対策について
- ・神戸電鉄粟生線について

鈴垣元議員

- ・国民健康保険について
- ・住宅リフォーム助成制度について
- ・雇用促進住宅廃止問題と住宅施策のその後について

藤井玉夫議員

- ・高齢者介護について
- ・中心市街地の活性化対策について
- ・指定管理者制度について

藤本修造議員

- ・次期総合計画について
- ・メール配信サービスについて
- ・コミュニティレストランについて

加島淳議員

- ・市から市民への情報発信について
- ・火災の予防対策について

質疑発言者

河島信行議員

- ・議案第58号
- ・平成22年度小野市一般会計補正予算(第4号)について

吉田成宏議員

- ・議案第58号
- ・平成22年度小野市一般会計補正予算(第4号)について
- ・議案第59号

- ・平成22年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- ・議案第69号
- ・訴えの提起について





清風クラブ
松本哲昇議員

水道整備計画について

質問 市場・河合水源地の改修内容と工期短縮についてお伺いします。

答弁 現在の塩素消毒を紫外線処理方式の高度処理施設に整備します。耐震化も併せ改修します。市場は平成23～24年度、河合は平成25～26年度に行い、国庫補助もあり工期短縮は困難な状況と考えます。

質問 公共下水道が整備される前の下排水管について、補修・撤去等の対応をお伺いします。

答弁 市が事業費の1/2を支援、公共下水道整備に伴い、平成6年度に事業廃止。日常の維持管理(管路点検・清掃等)や改修は地元負担。公道にあるマンホール等の緊急修繕はケースにより水道部で対応しています。

再質問 本来整備を行う場合、覚書を交わし管理するのでは？

答弁 覚書はありません。

再々質問 覚書がないなら、公道に敷設してある配管の撤去・補修等に

ついて、地元と協議を進めるべきと考えますが？また、公道にあるマンホール等の補修は市で行うと解釈して良いのですか？

答弁 地元の要望には柔軟に対応、公道のマンホールは市で対応します。(水道部長)

ごみ減量について

質問 資源ごみに対する市民意識の醸成、スーパードなどへの指導・啓発の取り組みについてお伺いします。

答弁 市内のコンビニ11店舗と量販店14店舗のうち5店舗で資源ごみ回収を実施。量販店にはできる限りの受け入れ体制の構築をお願いしたいと考えています。

質問 取り組み店舗の広報周知は？

答弁 店舗了解のうえ、広報等で周知していきます。(市民安全部次長)

学校空調設備導入による学習効率の検証について

質問 学習効率の検証はどのように？

答弁 5年前から、児童生徒、保護者、教師による学校評価を制度化して実施しています。(教育長)



公明党
川名善三議員

「子ども・若者育成支援推進法」への対応について

本年4月、仕事に就かず学校にも通っていない「ニート」や「引きこもり」と呼ばれる若者の社会参加を支援する「子ども・若者育成支援推進法」が施行された。ともすると、本人や家庭の責任と思われるが、問題であるが、全国的には対象者は相当数に上っており、すでに社会全体の問題と認識されてきている。若者たちの健やかな成長は我が国の発展の基礎となることから、この法律に

対する対応について伺う。

質問 青年世代における実態把握について

答弁 福祉部門、青少年健全育成部門などに相談があった場合には、個別のケースとして把握できるが、市内全体の実態把握ということになると、「引きこもり」状態などは、概してセンシティブな事柄であり、調査の困難性が伴うことから実態把握

に関しては、個別のご相談などを通じて行っている。

質問 縦割りでない総合的な相談窓口の必要性について

答弁 総合的な相談窓口については、目指すべき方向としては、その必要性を認識しており今後変化し得る役割に応じて、適切な時期に、現在の窓口の再編・再構築を考えている。(小林副市長)

マルチメディア・デジタル教科書の活用について

質問 小野市での活用について

答弁 本市では、ICT教育の環境も整っている。今後は専用ソフトの入手方法や利用方法を広く普及させるよう努力し、特別支援担当の教員によるその指導方法や指導内容を確認するための調査研究を進め、その上で発達障がいをはじめとする障がいのある児童・生徒に対し、マルチメディア・デジタル教科書による授業が効果的である場合について、積極的に活用したい。(教育長)



市民クラブ

岡嶋正昭議員

新学習指導要領について

質問 次年度から始まる「新学習指導要領」により、学習内容が大幅に増加する。その対応策について

答弁 授業時間は、小学校で278時間・中学校で105時間増加する。そこで質的には授業効率向上のためすでにICT機器を整備している。また、市内全学校の教室に空調設備を設置し暑い夏の授業の充実を図っていく。格差の出やすい算数・数学・英語などは、少人数授業やクラスに二人以上の教師の指導等できめ細かく対応する。(教育長)

消防救急隊の活動について

質問 救急出動と市民病院との連携について

答弁 病院到着までの時間は、全国平均より短いものの、年々遅延傾向にある。原因として脳卒中・心筋梗塞等の救急医療の専門医不足等による医療体制の弱体化があるものと考えられる。消防業務の基本である

「迅速且つ的確」を行動目標とした結果、22年度上期は、平均で約2分半短縮改善されている。(消防長)

市街地道路側溝の整備について

質問 道路側溝は、道路敷地内に降った雨水等を速やかに排水路に排除するための構造物であり、原則蓋を設けない構造で管理したい。しかし、狭隘道路の通行上の安全機能アップのため、側溝に蓋掛けすることに支障がなく、且つ隣接の住宅所有者の承諾がある場合は、蓋の設置は可能であり、地元要望も踏まえ実施したいと考えている。(地域振興部長)

新型インフルエンザ対策について

質問 現在、北播磨地域の流行レベルを示す指数は0・23で、感染拡大レベルではないが、厳冬期を向かえ油断できる状況ではない。10月から全市民を対象にワクチンの摂取を開始。11月には手洗い・うがいの励行・咳エチケットを促すチラシの全戸配布などで感染予防と拡大防止に取り組んでいる。(市民福祉部長)



研政クラブ

掘井算満議員

鴨池キャンプ場の整備について

質問 播磨中部丘陵県立自然公園内に位置する鴨池第1キャンプ場10,200㎡が、ゴルフ場の駐車場に転用され、残るキャンプ場はテント5張り程度の狭隘な第2キャンプ場が残るのみとなり、キャンプ場整備が急がれるが、その整備計画は検討されているのか。

答弁 近年、少子化の影響と合わせ、スポーツ機能を備えたキャンプ場、スポーツ機能を備えたキャンプ場、車社会を象徴するオートキャンプ場など、多目的機能を備えた施設に利用者が増え、鴨池キャンプ場の利用者が大きく減少している。

キャンプ場の用地は、下来住町、来住町で構成される両来住郷協議会の所有地で、小野ゴルフ倶楽部との協議で駐車場に転用された。

キャンプ場の代替候補地としては、山田の里公園やKDDI跡地など利用可能な所もあるが、近隣のキャンプ場の利用状況を見ると、初期投資

資など費用対効果に加え、年間を通して利用期間が比較的短いなど、代替整備を計画するには、多くの課題をクリアしなければならず、多面での意見も聴取し、今後、慎重に検討する。(地域振興部長)

仮称「小野警察署」の設置について

質問 予てより、市民の念願でありました仮称「小野警察署」の設置に向けて大きく動き出した。開設までの時間はあるが、開設に向けて小野市の心得として、市の財政的負担、用地確保等はどのようになるのか。

答弁 市では、現職警視を迎えた市民安全部の創設、警察官OB等15名と専用車両8台体制による安全安心パトロールを実施している。

警察署の設置主体は県であり、現時点ではそれぞれ具体的に示す材料や情報がないが、小野市としては、今後の動向を見守りつつ、県の決定があり次第、用地の確保も含めて迅速な対応ができるよう、準備を進めてまいりたい。(井上副市長)



研政クラブ
松本英昭議員

コミセン下東条周辺整備について

質問 伐採跡地の整備計画について

答弁 関係者との最終案がまとまり次第、予算を計上した上で詳細な設計を行い、工事着工したいと考えています。
(教育次長)

質問 忠魂碑周辺の安全対策について

答弁 安心・安全を確保するため、忠魂碑前から野外施設を結ぶ約36mに、フェンス設置の予算要望をしており、決定次第工事に着工します。
(教育次長)

質問 コミセン西側出入口の段差改修について

答弁 早急に改修が必要である事から、年明けに改修工事に着工します。
(教育次長)

公民館を拠点とした福祉対策について

質問 子育て広場整備事業への補助と同様に高齢者福祉対策としての支援事業は出来ないか伺います。

答弁 高齢者交流の場として公民館のバリアフリー化、トイレの改修等ハード面ソフト面あわせた拠点と仕組みづくりのために、上限200万円として予算化を提案し支援して参りたい。
(市長)

神戸電鉄粟生線について

質問 今後の取り組みについて

答弁 地域住民が維持・存続の意義を理解していただいた上で、沿線自治体や鉄道事業者と一体となって取り組まなければならないと考えます。
(小林副市長)

沿線3市だけの問題ではない。北播磨地域の各市町と連携し、旧JＲ鍛冶屋線の経験を生かさなければならぬ。首長が先頭に立って取り組んでいきます。
(市長)



日本共産党
鈴木恒元議員

国民健康保険について

国民健康保険(以下「国保」という。)の基金が底をつき、国保税引き上げが検討されているようだが、一般会計からの法定外繰り入れで対応し、保険税の引き上げをしないよう求めました。

質問 国保は4千万人が加入する最大の医療保険で、憲法25条を具体化した皆保険制度の土台をなし、国民が安心して医療を受けられるよう約束をしている。国保制度は、加入者が支払う保険料だけでは成り立たないものとして制度がつけられており、国の責任で国庫負担が行われているが、かつては国保財政全体の50%を占めていた国庫負担が08年には24%と半減している。一方、世帯当たりへの負担は増え続け、所得250万円未満世帯では負担率は1割を超える状況になっている。国保加入者は、自営業者・無職者・被用者など低所得世帯が多く、保険料の支払いに苦しむ人が急増している。今、全国の約70%の自治体では、高すぎる保険料を引き下げ、保持するため法定外繰り入れを行っているが、小野市でも財政基金(小野市の基金は70数億円、その内、何にでも使える財政基金は30億円。)を活用して一般会計からの法定外繰り入れを行い、加入者負担を支えるべきではないか。

答弁 国保特別会計は、被保険者を対象とした医療保険制度で、特別会計内で収支バランスを整え運営することが基本と理解している。現在の国保事業運営は非常に厳しい状況にあり、本年度の事業運営の適正化を図るため「国保運営協議会」に検討いただいている。一方で、厳しい経済情勢や雇用環境、被保険者の生活状況なども真摯に受け止める必要があると考えており、国保運営協議会での審議結果や、被保険者の負担等を考慮して、総合的な見地から一般会計からの繰り入れの在り方を検討したい。
(市民福祉部長)



改革クラブ

藤井玉夫議員

高齢者介護について

質問 介護保険制度の仕組み、介護保険制度の見直し、病院統合後の市民病院の介護施設等への活用、制度の将来的な見直しについての市としての考え方は

答弁 3年ごとの見直しの中で、要介護認定者の増加、介護の重度化、サービス度の向上によって、保険給付費が増加すれば、介護保険料も連動して上昇せざるを得ない仕組み、制度となっている。(市民福祉部長)

病院統合後の小野市民病院は、今後のリハビリ・特養の増加も考え、高齢者のための医療の拠点にしたい。また、地域に貢献できる病院に再生したい。超少子高齢化社会を迎え、現状の医療、介護、福祉の部門を維持・充実するためには消費税を含む抜本的な税制改革を行う時期にきている。(市長)

中心市街地の活性化について

質問 今後の中心市街地の再整備へ

の取り組みについて、これからの新たな総合計画にどう「まちづくり計画(構想編・整備計画編)」が活かされるのか

答弁 中心市街地にあつては、都市機能の再配置、土地利用転換の誘導の促進、廃屋や空き店舗の再利用、道路や駐車場等の再整備など安全・安心・快適な環境整備の促進を図ることとしている。(地域振興部長)

指定管理者制度について

質問 うるおい交流館『エクラ』の現状と各地区のコミュニティセンターの今後の指定管理者制度の導入についての考えは

答弁 地域づくり活動の更なる発展を考えた場合、地域自らの運営により「地域力」が醸成されることが重要とされることから、過去の経緯も踏まえコミセンの指定管理の導入に向け検討、研究をして参りたい。一方、エクラの管理運営に関しては、これまでの成果、培ってきたノウハウを活かしながら、組織としての体力をつけて頂きたいと考えている。(小林副市長)



市民クラブ

藤本修造議員

次期総合計画について

質問 地方分権による真の意味での地方自治「自己実現のための自己決定、自己責任」の時代であります。市民力・地域力の基本的な扱いについて伺います。

答弁 国・県・市等・行政主導でまちづくりが進展するのではなく、住民自らが考え、決断し、行動し、その責任も担うという、行政と地域の緊密で対等な「市内分権改革」を推進し、地域の多様な発展と小野らしさの2つの「シンカ」(進む化と深まる化)を図るとともに、行政は、市民や地域の活動支援に徹するということであります。市民力と地域力を成長の糧として、豊かな発想と素早い決断、果敢な実行力により推進される自立した地域経営や地域自治を目指したい。(小林副市長)

メール配信サービスについて

質問 10月から本格配信を始めました「チャイコムねっと」、「育児ねっと」、「障がいねっと」の事業目的について伺います。

答弁 メール配信サービスの「ねらい・思い」としましては、一つには、ある種の充実感を感じていただき、子育てなどの生活に「心の支援」として運用する。

二つには育児などの悩みにより、孤独感にさいなまれていらっしゃる方、また深い淵から出口を探そうとされている方々への、やわらかな声掛けのツールとしてご利用いただきたい。

つまり、このメール配信情報を介した「人としてのゆるやかな関係づくり」、また、全てのものが生き生きかかされているという「人生の気付き」の始発点情報として、活用していただければと考えています。

(市民福祉部長)



改革クラブ

加島 淳 議員

市から市民への情報発信について

質問 市民が親しみをもって読める「広報おの」にするための工夫や取り組みは。

答弁 市民に分かりやすく、より効果的な広報活動を行うことは大変重要なことと考える。本年4月号から紙面のレイアウト等全面改正を実施した。また7月より「広報アドバイザー」を採用し、より分かりやすく親しみをもって読んでいただけるよう編集に心がけている。(総務部長)

質問 緊急時に情報発信される「安心・安全メール」の登録件数と情報内容は。

答弁 登録件数は延べ4,314件。内容は、「声かけ事案の発生など防犯情報が22件、交通安全啓発が5件、防災情報が5件、その他動物の出没情報などが11件です。

(市民安全部長)

質問 かつて小野市には「有線放送」という全戸に情報を一斉発信で

きる便利な媒体があった。近年FMラジオやケーブルテレビをもつ自治体もあるが、小野市の今後の展開は。

答弁 「有線放送」は昭和36年から45年までの間開設されていた。その特徴は全戸一斉・地区別放送でできるのが特徴で、地震・火災・交通事故などの緊急防災、行方不明者の捜索願、不審者・詐欺商法への注意など防犯放送が随時行われていた。FM放送局・ケーブルテレビの設置・運営には多額の経費がかかり費用対効果等から難しいと考える。今後はさらに「広報おの」「小野市安心安心メール」等の充実を図って、市民への情報発信に努めたい。

(総務部長)

火災の予防対策について

質問 住宅用火災警報器の既存住宅への設置は、「平成23年5月31日までに設置」となっているが、現在の設置状況は。

答弁 当市の設置普及率は51・6%です。警報器設置率80%を目標に努力していく。(消防長)



改革クラブ

河島 信行 議員

一般会計補正予算(第4号)について

質疑 「保育所施設整備補助金」の具体的内容について

答弁 対象は、みやま保育園、下東中央保育園、下東条西保育園及び小野ひまわり保育所です。

具体的には、みやま保育園、及び小野ひまわり保育所の保育室の空調設備の設置です。下東条西保育所は耐震補強工事です。(市民福祉部長)

質疑 「生活保護措置経費」の具体的内容について

答弁 不安定な雇用による未就労者、無年金高齢者の増加等により、生活保護受給者が増え、被保護者の入院加療等に必要医療扶助の額が増加見込みです。(本年度は、がん治療や精神疾患、また糖尿病による合併症での入院により、昨年度平均を4・8名上回る月平均15・6名、率にして44・4%増加しています。)医療扶助費の補正は、2,085万4千円です。(市民福祉部長)

議案質疑

質疑 「インフルエンザ予防接種経費」の具体的内容について

答弁 これまで65歳以上の高齢者及び60歳以上で特定の疾患を有される方に予防接種法に基づく二類定期接種として、小野市が実施主体となっていました。その他の年齢の方は、任意の予防接種で、個人と医療機関との間で実施されてきました。

この予防接種体制の中、昨年、新型インフルエンザが発生し、大きな社会不安、混乱が生じたので、国は本年度、全住民を対象の接種体制に切り替えました。低所得者への負担軽減対策も加えられました。

今回は65歳未満の市民税非課税世帯者のインフルエンザワクチン接種費用1回あたり3,600円を無料にする経費で、対象者は約2千人です。なお、65歳以上の高齢者の方は、本年度から所得に係らず、無料で接種できるように改め、65歳未満の課税世帯の方は、医師会との協議により3,600円の負担で接種できるようにします。(市民福祉部長)



議案質疑

清風クラブ

吉田成宏 議員

一般会計補正予算(第4号)について

質疑 雇用創出事業1、600千円について

答弁 政府の経済対策「緊急雇用創出事業の基金拡充」に伴う補正で、22～23年の2カ年で総額12、000千円の内22年度分です。40歳未満の若年層を対象に①農道現況調査(農道台帳整備)に6名②商店街活性化支援事業(空き店舗等調査)に2名を予定し、商工会議所等に委託して新たな雇用を創出します。

質疑 電子自治体推進協議会電子申告部会負担金1、075千円について

答弁 オンラインで申告納税するシステム(e-tax)の電子データを受信するシステムの改修費用負担額の確定に伴う補正です。e-taxについては市広報で周知しているが、住基カード・電子証明書の取得や、ICカードリーダー購入等パソコン環境の事前準備が必要です。(総務部長)

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

質疑 歳入減額補正並びに前年度繰越金の処理について

答弁 歳入の大幅減額補正は、長引く景気低迷等による前年度所得減少による税額減収見込のため。前年度繰越金の大型補正は、前年度の新型インフルエンザ治療等の保険給付費として、事業基金のほぼ全額を繰り入れ対応したが、その後、感染も沈静化したため、当該会計は黒字決算となった。この黒字額を、本年度の国保税減収分等の追加財源に充当したい。(市民福祉部)

訴えの提起について

質疑 消費者金融への過払い金返還請求権を差し押さえることについて

答弁 利息制限法の定めを越えた支払利息は、過払い金として、税法の滞納処分で差し押さえ返還請求出来るので、支払訴訟を提起する。時効については、完済せず継続的に繰り返されているので成立しない。(総務部長)

常任委員会審査報告

各常任委員会に付託された議案は、次のとおりです。

【総務文教常任委員会】

- 議案第58号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第4号)
- 議案第61号 小野市私債権の管理に関する条例の制定について
- 議案第62号 小野市嘱託職員の身分取扱い等に関する条例の制定について
- 議案第63号 小野市非常勤職員の身分取扱い等に関する条例の制定について
- 議案第64号 小野市臨時職員の身分取扱い等に関する条例の制定について
- 議案第69号 訴えの提起について
- 請願第3号 取調べの可視化など刑事訴訟法の改正を求める意見書に関する請願書
- 請願第4号 他学区との統合などにより北播磨の通学区をこれ以上上げないことを求める意見書の提出を求める請願

採決の結果、議案第58号、議案第61号から議案第64号及び議案第69号は、全会一致で可決すべきと決まりました。請願第3号は、採択すべきと決まりました。請願第4号は、継続審査を要するものと決まりました。

【民生保健常任委員会】

- 議案第58号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第4号)
- 議案第59号 平成22年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 議案第60号 平成22年度小野市介護保険特別会計補正予算(第2号)

採決の結果、議案第58号から議案第60号は、全会一致で可決すべきと決まりました。

【地域振興常任委員会】

- 議案第58号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第4号)
- 議案第68号 土地の取得について
- 請願第5号 環太平洋連携協定(TPP)参加に反対する請願書

採決の結果、議案第58号、議案第68号は、全会一致で可決すべきと決まりました。請願第5号は、採択すべきと決まりました。

今期4年間の市議会10大ニュース(改革)!!

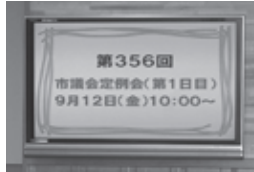
市議会では、昨今の社会・経済情勢を認識し、行財政改革の必要性を踏まえた上で、最小の経費で最大の効果を挙げるべく、簡潔かつ効率的な議会運営を目指すため、議員自らが全国に先駆けた議会改革に取り組んでいます。

今期4年間で、市民の皆様に見える形で、積極的な改革と議会の活性化に取り組んできた10大ニュースを紹介いたします。
(市議会が選びました)

「主な議会改革」(年代順)

1 県下初!! 議場内に大型ディスプレイを設置しました。(H20年9月～)

議場内に大型ディスプレイを設置し、傍聴席から議員の熱のこもった質疑・質問をしている真剣な表情を見ていただけるようにしました。



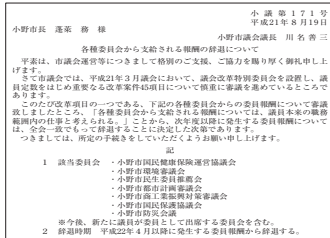
2 市議会ホームページをリニューアルしました。(H21年4月～)

議会活動や行事等をより分かりやすく伝えるようにするため、市議会ホームページに新着情報などの工夫を取り入れ、議会をより身近に感じていただけるようにしました。



3 各種委員会の委員報酬を辞退しました。(H22年4月～)

市が設置する各種委員会からの委員報酬については、「議員の職務の範囲内と考えられる。」ことから、全会一致をもって辞退しました。



4 決算審査を特別委員会から研修会に変更しました。(H22年8月～)

例年、12月定例会で前年度決算を認定していましたが、早期の審査及び認定を実現するため、8月に決算研修会を開催し詳細な審査を行うことで、9月定例会で認定できるようにしました。



5 議会傍聴者のための休憩室を設けました。(H22年9月～)

これまでの託児コーナーに加え、傍聴者の皆様がお茶を飲んで休んでいただける休憩室を設置し、傍聴しやすい環境づくりに取り組みました。



6 市議会だよりを充実しました。(H22年11月～)

決算認定の詳細を掲載する11月号と、予算審議の意見内容を掲載する5月号の議会だよりの増ページを行い、市議会の情報公開を一層進めるように取り組みました。



7 議員定数を2名削減し16名とします。(H23年5月～)

議員自らの資質を高めることにより、議会の活性化は十分可能であり、最小の経費で最大の効果を挙げるべく、機能的かつ効率的な議会運営を目指すことが、真に市民の負託に応えることになると考えることから、議員定数を2名削減し、16名とします。



8 常任委員会体制を再構築します。(H23年5月～)

3つの常任委員会を2つにするとともに、委員数を6人から8人に増やし、より多くの委員で議案を審議できる体制に整えます。



9 毎回の定例会で全議員が質問できるようにします。(H23年6月～)

議員は市民全体の代表として、市の意思を最終的に決定します。また、行政機関が真に市民の意思を反映した行政を行っているかを監視する役割を充実させるため、毎定例会で議員全員が質問することが可能となります。



10 一般質問で議案質疑も質せるようにします。(H23年6月～)

市政全般について詳しく意見を質せる一般質問でも議案質疑ができるようにし、質疑・質問内容が傍聴者の皆様に、より分かりやすく伝えるように取り組みます。



議会の傍聴にお越しください!!

市議会では、一人でも多くの方の傍聴をお待ちしています。どうぞお気軽にお越しください。



◆傍聴者休憩室を開設しています

傍聴の途中にぜひご利用ください。飲み物を用意しています。

◆託児を行っています。

小さいお子さん（満1歳から）をお持ちの方も安心して傍聴いただけます。定例会2日目の7日前までに議会事務局までご連絡ください。



◆大型モニターで臨場感を

議場の大型モニターで、自席で発言する議員の表情までご覧いただけます。真剣な議論を生でお聞きください。

3月定例会の日程が決まりました。

- 2月25日(金) (第1日) 10時～
- 3月9日(水) (第2日) 10時～
- 3月10日(木) (第3日) 10時～
- 3月24日(木) (第4日) 13時30分～



本会議の第2日と第3日は、議員の質疑、一般質問があります。議員からは、提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して市長、部長が答弁します。

託児コーナー開設します

3月9日(水)・3月10日(木)

ご希望の方は、3月1日(火)までに議会事務局までお申し込みください。

自宅にしながら議会の傍聴



実施中!!

小野市のホームページからご覧いただけます

◎ 議会の動き ◎

【11月】

- 1日 保育所5歳児ふれあい運動会
- 3日 小野市障害者ONOリンピック
- 4日 特別支援学校オープンスクール
- 5日 猟友会小野支部総会
- 7日 小野市吟詠連合会吟道大会
- 8日 行政視察来市(愛知県知立市)
- 10日 行政視察来市(滋賀県湖南市)
- 11日 金婚夫婦を祝う集い
 - 〳 行政視察来市(栃木県下都賀郡野木町)
- 12日 全国市議会議長会評議員会(東京)
- 14日 小野市文化賞表彰式
- 17日 行政視察来市(岐阜県郡上市)
- 19日 北播政経懇話会(加東市)
- 20日 小野加東住民大会(加東市)
 - 〳 心あったかフォーラム
- 22日 議会運営委員会・議会報編集委員会
 - 〳 議員協議会
- 23日 小野市ひまわり杯ジュニアバレーボール大会
- 24日 近畿市議会議長会監事会(堺市)
- 25日 小野加東環境施設事務組合議会
- 28日 淡路市市政5周年記念式典(淡路市)
- 30日 本会議(第1日)

【12月】

- 5日 女性フェスティバル

- 7日 小野加東広域事務組合議会
 - 〳 北播衛生事務組合議会
- 15日 本会議(第2日目)
- 16日 本会議(第3日目)
- 19日 小野市美術展表彰式
- 20日 総務文教・民生保健・地域振興常任委員会
 - 〳 議員協議会
- 22日 本会議(第4日目)
- 24日 小野市民生委員・児童委員感謝状並びに委嘱辞令伝達式

【1月】

- 4日 仕事始め式
- 5日 新年交歓会
- 6日 小野金物卸商業協同組合新年会
- 7日 青野ヶ原駐屯地新春互礼会
- 10日 小野市成人式
- 11日～12日 市町村議会議員研修(滋賀県)
- 14日 匠工業会新年会
 - 〳 議会運営委員会
- 16日 ONO RUNランウォーク
- 19日 エイジ・ルネサンス・パーティー
- 20日 東播・淡路市議会議長会定例会
- 21日 臨時市議会
 - 〳 総務文教・民生保健・地域振興常任委員会
 - 〳 議会報編集委員会
 - 〳 兵庫県市議会議長会理事会(三田市)
- 25日 総務文教常任委員会
- 27日 近畿市議会議長会理事会(大阪市)